

<緊急セミナーのご案内>

～輸出、輸入時の実務上のポイント～ 変化する輸出入食品の品質・表示チェック

- ▼変わりゆく海外の食品表示に係わる制度と仕組みへの実務的対応
- ▼輸出入食品の通関に係わる安全・品質検査の動向と要注意点、変化を探る

近く、輸出入食品、農畜水産品の関税引下げ・撤廃が進行し、安全・品質等の担保が重要な課題となります。すでに環太平洋経済連携協定TPP11が発効され、日欧EPAも2月1日から発効されます。そして2020年の東京オリンピックを控え、モノにかかる関税の撤廃、投資やサービスの幅広い分野で自由化等が推進される見通しです。食品産業にとっては食品および農畜水産物の輸出入が活発化するなど、内外市場は大きな変化が予測されます。

今セミナーでは一気に進む自由化を前に、輸出入食品及び農畜水産品の安全・品質担保をどう徹底していくか、実務上のポイントについて講演します。

まずはここ数年間で改正された各国の制度、また今後改正が検討されている各国の制度をもとに、食品表示のテーマ別に実務上のポイントについて解説します。また、輸出入国の拡大、制度の改正等で新たな検査項目チェック、出現を踏まえ、輸出入食品の通関に係わる安全・品質検査の動向、要注意点など変化を見据えたポイントについて講演します。

日時 2019年2月19日(火) 13:15～16:30
会場 薬業健保会館今(地下鉄銀座線赤坂見附下車徒歩5分) 地図裏面参照
受講料 1人様 15,000円(外税込み) 品質保証研究会会員3名様無料

▼講演1 13:15～14:45

～輸出、輸入時の実務上のポイント～

変わりゆく海外の食品表示に係わる制度と仕組みへの実務的対応

- ・各国(欧米東南アジア)の義務表示(原材料、添加物、アレルゲン、栄養成分等)について
- ・各国(同上)の任意表示(栄養の強調、〇〇フリー等)について
- ・ここ数年間で改正された各国の表示制度の動向について
- ・今後改正が検討されている各国の表示制度の動向について
- ・各国の基準情報を検索できる実践的システムの事例

(株)ラベルバンク 代表取締役社長 川合裕之 氏

▼講演2 15:00～16:30

輸出入食品の通関に係わる安全・品質検査の動向と要注意点、変化を探る

一般財団法人東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 理事 安田和男 氏

品質保証研究会 代表幹事：村元靖郎
事業室 千葉県市原市五井2533-48
電話(村元携帯) 090-6796-6230

品質保証研究会は食品の製造・流通・販売・消費及び製品や原材料、副資材、輸出入食品に係わる安全・品質・法規等の話題・緊急性をテーマにしたセミナーを年7～8回開催しています。年会費は7万円で、会員は1回のセミナーに3名様まで無料参加できます。詳しくはmuramotoyyy@gmail.comまで入会案内を請求して下さい。